



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 DMG森精機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6141 URL <http://www.dmgmorseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼経理財務本部長 (氏名) 近藤 達生

TEL 052-587-1811(代表)

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	112,953	3.9	4,529	96.0	6,153	175.3	5,229	114.7
25年3月期第3四半期	108,682	△1.5	2,311	△40.1	2,235	△9.7	2,435	37.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 14,504百万円 (376.1%) 25年3月期第3四半期 3,046百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	48.13	48.11
25年3月期第3四半期	22.26	22.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	217,710	117,485	52.0	1,046.85
25年3月期	186,653	104,481	55.0	938.53

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 113,270百万円 25年3月期 102,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	6.4	8,000	93.5	8,500	69.8	7,200	39.3	66.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	118,475,312 株	25年3月期	118,475,312 株
26年3月期3Q	10,274,639 株	25年3月期	9,091,233 株
26年3月期3Q	108,638,519 株	25年3月期3Q	109,384,729 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成26年2月12日(水)に当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から12月31日)の受注環境は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(平成25年1月から12月)が前年同期比で7.9%の減少となりましたが、当社グループにおいては米州市場が引き続き堅調に推移し、日本や欧州での需要回復が進む中、より多くのお客様から受注をいただけるよう取り組んでまいりました。

このような経営環境下において、当社は10月より商号をDMG森精機株式会社(英文:DMG MORI SEIKI CO., LTD.)に変更しました。また、昨年5月には欧州の独占禁止法の許可を受け、機種統合や共同購買、相互生産体制の強化を加速してまいりました。

10月に開催された「メカトロテックジャパン2013」では、新オペレーティングシステム「CELOS」を搭載し、機種統合の象徴である新デザインコンセプト仕様の「NLX2500」を日本初公開しました。また、省エネルギーを実現し、俊敏性と高剛性を兼ね備えた「MAX3000」を出展するなど、イノベーティブな製品を提案いたしました。

天津工場では10月にグランドオープンを行い、高精度・高速横形マシニングセンタ「NHC4000」及び「NHC5000」の販売を開始いたしました。また、天津工場は鋳物をはじめ部品の供給拠点として、当社グループに対してグローバルな部品の安定調達やコスト削減にも貢献してまいります。

こうした状況のもとで、当第3四半期連結累計期間における売上高は112,953百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は4,529百万円(前年同四半期比96.0%増)、経常利益は6,153百万円(前年同四半期比175.3%増)、四半期純利益は5,229百万円(前年同四半期比114.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は217,710百万円となり、前連結会計年度末比31,057百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、商品及び製品が7,129百万円、建物及び構築物が3,884百万円、機械装置及び運搬具が1,289百万円、投資有価証券が18,833百万円それぞれ増加したことが挙げられます。

なお、純資産は117,485百万円となり、自己資本比率は52.0%と前連結会計年度末比3.0ポイント悪化しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月30日の第2四半期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社において、平成10年4月1日以降取得の建物(附属設備を除く)を除く有形固定資産の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、国内連結子会社1社を除く全ての有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更しております。

当社グループは、中期経営計画に基づき、生産拠点のグローバル化、DMG MORI SEIKI Aktiengesellschaft(以下、DMG MORI SEIKI AG)との共同販売・開発・相互生産等の施策を進める中で、グローバルでの共通した管理体制の構築の必要性が増したことを契機として、生産設備の稼働状況の検証を実施しました。その結果、今後は生産拠点のグローバル化やDMG MORI SEIKI AGとの販売拠点の統合及び相互生産体制の構築により、生産設備がより安定的に稼働することとなるため、定額法による減価償却の方法が設備の稼働実態に基づく経済的便益の消費パターンを適切に表すと判断し、変更するものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は589百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,287	4,998
受取手形及び売掛金	24,824	23,575
商品及び製品	12,195	19,325
仕掛品	7,189	9,002
原材料及び貯蔵品	18,555	18,055
繰延税金資産	2,742	3,301
未収消費税等	430	694
その他	2,744	4,315
貸倒引当金	△230	△189
流動資産合計	74,739	83,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,094	29,978
機械装置及び運搬具(純額)	5,989	7,279
土地	21,774	22,155
リース資産(純額)	3,995	3,944
建設仮勘定	1,882	363
その他(純額)	3,052	3,447
有形固定資産合計	62,788	67,169
無形固定資産		
のれん	666	1,037
その他	5,245	4,176
無形固定資産合計	5,912	5,214
投資その他の資産		
投資有価証券	40,367	59,201
長期前払費用	310	706
繰延税金資産	944	773
その他	1,591	1,565
投資その他の資産合計	43,213	62,246
固定資産合計	111,914	134,630
資産合計	186,653	217,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,077	14,154
短期借入金	23,929	13,831
1年内償還予定の社債	—	15,000
リース債務	428	440
未払金	3,855	5,002
未払費用	1,583	1,482
前受金	1,894	2,551
未払法人税等	981	776
未払消費税等	75	50
繰延税金負債	249	218
製品保証引当金	832	870
賞与引当金	168	73
その他	1,177	1,405
流動負債合計	44,253	55,857
固定負債		
社債	30,000	35,000
リース債務	3,986	3,997
繰延税金負債	1,400	2,098
再評価に係る繰延税金負債	1,485	1,485
退職給付引当金	222	261
長期未払金	748	641
資産除去債務	62	63
その他	13	819
固定負債合計	37,918	44,367
負債合計	82,172	100,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,132	41,132
資本剰余金	53,863	53,858
利益剰余金	18,270	21,287
自己株式	△11,743	△13,283
株主資本合計	101,523	102,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,616	4,069
繰延ヘッジ損益	185	△225
土地再評価差額金	1,759	1,759
為替換算調整勘定	△3,423	4,672
その他の包括利益累計額合計	1,136	10,275
新株予約権	434	39
少数株主持分	1,386	4,176
純資産合計	104,481	117,485
負債純資産合計	186,653	217,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	108,682	112,953
売上原価	76,742	75,975
売上総利益	31,940	36,977
販売費及び一般管理費	29,629	32,447
営業利益	2,311	4,529
営業外収益		
受取利息	25	17
受取配当金	313	352
為替差益	—	1,953
持分法による投資利益	321	33
その他	158	165
営業外収益合計	819	2,522
営業外費用		
支払利息	407	427
為替差損	27	—
支払手数料	89	155
その他	370	316
営業外費用合計	895	899
経常利益	2,235	6,153
特別利益		
固定資産売却益	6	17
投資有価証券売却益	6	4
持分変動利益	—	3,432
新株予約権戻入益	16	373
受取保険金	491	—
特別利益合計	520	3,828
特別損失		
固定資産売却損	2	3
固定資産除却損	6	51
その他の投資評価損	8	1
持分変動損失	—	895
事業構造改革費用	—	2,774
退職給付費用	8	—
リース解約損	15	—
特別損失合計	41	3,727
税金等調整前四半期純利益	2,714	6,254
法人税、住民税及び事業税	426	817
法人税等調整額	△356	75
法人税等合計	69	892
少数株主損益調整前四半期純利益	2,645	5,361
少数株主利益	209	132
四半期純利益	2,435	5,229

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,645	5,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△387	1,288
繰延ヘッジ損益	—	△449
為替換算調整勘定	939	2,907
持分法適用会社に対する持分相当額	△150	5,396
その他の包括利益合計	401	9,143
四半期包括利益	3,046	14,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,827	14,367
少数株主に係る四半期包括利益	219	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。